グラントシマウマの定期的な削蹄と蹄の管理について

〇齋藤舞衣　薄井正
（横浜市立よこはま動物園）

よこはま動物園で飼育するグラントシマウマ(*Equus burchellii boehmi*)雌1頭は、2019年、放飼中に両前肢の蹄壁に亀裂が確認された。そこから蹄が反りあがって過長してしまうようになったため、2019年6月13日から麻酔下での削蹄を定期的に実施している。2023年5月9日2019年から2025年までで、計6回の削蹄を実施し、回数を重ねるごとに蹄の状態の改善が見られた。その経過を報告する。